

○愛知淑徳大学食健康科学部規程

(趣旨)

第1条 この規程は、愛知淑徳大学食健康科学部（以下、「学部」という。）が愛知淑徳大学学則（以下、「学則」という。）第2条に則り、次の各号に掲げる目的を達するため、教育課程、授業、研究指導等および運営等について、学則に定めるもののほか必要な事項を定める。

(1) 学部は、人の健康の保持、増進における食や栄養の関わりについての知識を修得し、「食」と「栄養」の専門家として、実社会の食品、健康に関する諸問題に論理的かつ科学的根拠に基づき対処ができ、すべての人々の生活の質を向上させることに貢献できる人材を養成することを教育の目的とする。

(2) 健康栄養学科においては、管理栄養士の国家資格を目指し、幅広い教養と、専門的かつ科学的な知識、高度な実践能力を有し、人々の健康の保持増進、生活の質の向上を通して健康長寿社会に貢献していく中心的な役割を担い得る人材の育成のために必要な教育研究を行う。

(3) 食創造科学科においては、食と栄養に関する専門知識を深め、食と健康分野において必要な総合力を培い、豊かな食生活と健康社会に貢献するために必要な知識と技能を有する人材の育成のために必要な教育研究を行う。

2 この規程に定めるもののほか、学部の教育に関し必要な事項は、学部教授会（以下、「教授会」という。）の定めるところによる。

3 この規程に定めるもののほか、学部の各学科の教育に関し必要な事項は、各学科会議の定めるところによる。

(教授会)

第2条 教授会の組織および運営に関しては、教授会規程に定める。

(教育課程)

第3条 各学科の授業科目およびその単位数については、別表第1に掲げるもののほか、各学科の定めるところによる。

(履修条件)

第4条 各学科の授業科目の履修については、別表第1に定めるもののほか、各学科の定めるところによる。

(編入学および再入学学生の既修得単位の認定)

第5条 編入学および再入学による学生の本学入学前に修得した単位の認定については、編入学規程および再入学規程の定めるところによる。

(他の大学または短期大学における授業科目の履修および入学前の既修得単位の認定)

第6条 学生が他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位ならびに本学に入学する前に大学または短期大学において修得した単位は、合わせて60単位を超えない範囲で卒業の要件となる単位として認定することができる。

2 前項による単位の認定方法については、教授会の定めるところによる。

(外国の大学または短期大学における修得単位の認定)

第7条 学生が外国の大学または短期大学に留学することによって修得した単位の認定については、留学生派遣規程の定めるところによる。

(授業科目の履修登録)

第8条 学生は、毎学期の始めにおいて、その学期に履修しようとする授業科目を登録するものとする。

2 前項により登録することができる授業科目の単位数の合計は、別表第2に定める単位数を超えないものとする。ただし、教授会が成績優秀と認めた者については、学期毎に別表第2に定める単位数に4を加えた単位数まで登録することができるものとする。

3 その他授業科目の履修に関し必要な事項は、履修および試験規程の定めるところによる。

(所属学科の変更)

第9条 所属学科の変更を志願する者については、変更の可否について志望する学科および教授会において審議し、学部長は教授会の審議の結果を学長に上申する。

2 その他所属学科の変更に関し必要な事項は、教授会の定めるところによる。

(所属学部の変更)

第10条 所属学部の変更を志願する者については、所属する学部長を通じて、志願する学部長に願い出るものとする。

2 所属学部の変更については、志望する学科および教授会の審議の結果を学長に上申する。

3 その他所属学部の変更に関し必要な事項は、教授会の定めるところによる。

(卒業の要件)

- 第11条** 学部を卒業するためには、大学に4年以上在学し、必修科目と選択科目とを合わせて124単位以上を修得しなければならない。
- 2 開設科目は、全学共通履修科目と専門教育科目とに分け、全学共通履修科目は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目、アクティブラーニング科目、言語活用科目、コンピュータ活用科目および資格教育科目からなるものとする。
- 3 第1項において定める修得単位には、健康栄養学科においては、違いを共に生きる科目および日本語表現科目4単位以上、アクティブラーニング科目2単位以上、言語活用科目4単位以上(必ず英語4単位を含む)、コンピュータ活用科目2単位以上、専門教育科目110単位以上、食創造科学科においては、違いを共に生きる科目および日本語表現科目4単位以上、アクティブラーニング科目2単位以上、言語活用科目4単位以上、コンピュータ活用科目2単位以上、専門教育科目90単位以上とする。
- 4 他学部・他学科開放科目、愛知学長懇話会単位互換科目および放送大学単位互換科目を履修することにより修得した単位は、卒業要件となる単位として認定することができる。

(副専攻プログラム)

- 第12条** 学部の各学科が開講する科目のうち、別表第3に掲げるものを副専攻プログラム科目と称する。
- 2 他の学部または学科に在籍する学生が、前項に定める副専攻プログラム科目を履修して40単位以上を修得し、さらに当該学科の定める条件を満たした場合は、副専攻プログラムを修了したことを認定するものとする。
- 3 前項に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は学科の定めるところによる。

(改廃)

- 第13条** この規程の改廃は、教授会の議を経て、学部長の上申により学長が行う。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

別表第1

食健康科学部健康栄養学科全学共通履修科目

授業科目の名称	必修 単位数	選択 単位数	備考
〔違いを共に生きる科目〕 (基幹科目) 違いを共に生きる・ライフデザイン (違いを共に生きる) 探究・違いを共に生きるⅠ 探究・違いを共に生きるⅡ	2	2 2	卒業要件 違いを共に生きる科目および日本語表現科目4単位以上、アクティブラーニング科目2単位以上、言語活用科目4単位(必ず英語4単位を含む)以上、コンピュータ活用科目2単位以上修得。
〔日本語表現科目〕 (基幹科目) 日本語表現1 (応用) 日本語表現2 (発展) 日本語表現3	2	2 2	
〔アクティブラーニング科目/国際交流センター開設科目〕 英語海外セミナーⅠ [M] 英語海外セミナーⅡ 英語海外セミナーⅢ 中国語海外セミナーⅠ 韓国・朝鮮語海外セミナーⅠ 海外アクティブラーニング入門 海外アクティブラーニング研修 Globalization and Society Traditional Arts in Japan English for Study AbroadⅠ English for Study AbroadⅡ 日本語非母国話者のためのアカデミック・ライティングⅠ 日本語非母国話者のためのアカデミック・ライティングⅡ		2 2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2	
〔アクティブラーニング科目/コミュニティ・コラボレーションセンター開設科目〕 CCCスタートアップ講座 ボランティア 障がい者支援ボランティア 企画立案の基礎 まちづくりと地域活動 ファシリテーター養成講座 CCCキズナプロジェクトA CCCキズナプロジェクトB		2 2 2 2 2 2 2 2	
〔アクティブラーニング科目/キャリアセンター開設科目〕 キャリアの形成 キャリアに役立つ数学力(基礎) キャリアに役立つ数学力(実践) インターンシップ概論 インターンシップ研修 海外インターンシップ ビジネスの世界 新社会人の基礎		2 2 2 2 2 2 1 1	

授業科目の名称	必修 単位数	選択 単位数	備考
[アクティブラーニング科目/ジェンダー・女性学研究所開設科目]			
日常生活とダイバーシティ		2	
大学生のためのダイバーシティ入門		2	
ダイバーシティ 研究法概論		2	
ダイバーシティ 研究法演習		2	
ダイバーシティ 関係行政論 [M]		2	
ダイバーシティ 表現演習Ⅰ		2	
ダイバーシティ 表現演習Ⅱ		2	
セクシュアリティとメディア		2	
思想としてのフェミニズム		2	
[言語活用科目/英語] (基礎力養成)			
Basic English 1		2	
Basic English 2		2	
English 1(Listening)		2	
English 2(Reading)		2	
English 3(TOEIC 1)		2	
English 4(Speaking 1)		2	
English 5(TOEIC 2)		2	
English 6(Speaking 2)		2	
(対話力養成)			
TOEIC Training I a (Listening & Reading)		2	
TOEIC Training I b (Listening & Reading)		2	
TOEIC Training I c (Listening & Reading)		2	
TOEIC Training I d (Listening & Reading)		2	
TOEIC Training II a (Speaking & Writing)		2	
TOEIC Training II b (Speaking & Writing)		2	
Advanced English A		2	
Advanced English B		2	
(入門)			
Introduction to English		2	
[言語活用科目/初めての外国語 (国際交流センター開設科目)]			
初めての外国語1 (ドイツ語)		2	
初めての外国語2 (フランス語)		2	
初めての外国語3 (ロシア語)		2	
初めての外国語4 (スペイン語)		2	
初めての外国語5 (イタリア語)		2	
初めての外国語6 (ポルトガル語)		2	
初めての外国語7 (中国語)		2	
初めての外国語8 (韓国・朝鮮語)		2	
[コンピュータ活用科目] (基礎)			
コンピュータリテラシーⅠ		2	
コンピュータリテラシーⅡ		2	
(資格支援)			
ITパスポート対策講座Ⅰ		2	
ITパスポート対策講座Ⅱ		2	
情報セキュリティマネジメント試験対策講座Ⅰ		2	
情報セキュリティマネジメント試験対策講座Ⅱ		2	
ウェブデザイン技能検定対策講座		2	

授業科目の名称	必修 単位数	選択 単位数	備考
〔資格教育科目/会計教育科目〕			
初級簿記(3級程度) *基礎総合		4	
中級簿記(2級程度)A *商業簿記		4	
中級簿記(2級程度)B *工業簿記		4	
中級簿記(2級程度)C *実践 (試験直前対策)		4	
上級簿記(1級程度)A *商業簿記・会計学①		4	
上級簿記(1級程度)B *商業簿記・会計学②		4	
上級簿記(1級程度)C *工業簿記・原価計算①		4	
上級簿記(1級程度)D *工業簿記・原価計算②		4	
上級簿記(1級程度)E *実践 (試験直前対策)		4	
初級簿記演習		2	
中級簿記演習A *商業簿記		2	
中級簿記演習B *工業簿記		2	

〔教職課程科目〕 授業科目とその単位数については、教職課程規程の別表のとおり

の科目は卒業要件単位数に算入しない。

【令和6年度入学者】

食健康科学部食創造科学科全学共通履修科目

授業科目の名称	必修 単位数	選択 単位数	備考
〔違いを共に生きる科目〕 (基幹科目) 違いを共に生きる・ライフデザイン (違いを共に生きる) 探究・違いを共に生きるⅠ 探究・違いを共に生きるⅡ	2	2 2	卒業要件 違いを共に生きる科目および日本語表現科目4単位以上、アクティブラーニング科目2単位以上、言語活用科目4単位以上、コンピュータ活用科目2単位以上修得。
〔日本語表現科目〕 (基幹科目) 日本語表現1 (応用) 日本語表現2 (発展) 日本語表現3	2	2 2	
〔アクティブラーニング科目/国際交流センター開設科目〕 英語海外セミナーⅠ [M] 英語海外セミナーⅡ 英語海外セミナーⅢ 中国語海外セミナーⅠ 韓国・朝鮮語海外セミナーⅠ 海外アクティブラーニング入門 海外アクティブラーニング研修 Globalization and Society Traditional Arts in Japan English for Study Abroad Ⅰ English for Study Abroad Ⅱ 日本語非母国話者のためのアカデミック・ライティングⅠ 日本語非母国話者のためのアカデミック・ライティングⅡ		2 2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2	
〔アクティブラーニング科目/コミュニティ・コラボレーションセンター開設科目〕 CCCスタートアップ講座 ボランティア 障がい者支援ボランティア 企画立案の基礎 まちづくりと地域活動 ファシリテーター養成講座 CCCキズナプロジェクトA CCCキズナプロジェクトB		2 2 2 2 2 2 2 2	
〔アクティブラーニング科目/キャリアセンター開設科目〕 キャリアの形成 キャリアに役立つ数学力(基礎) キャリアに役立つ数学力(実践) インターンシップ概論 インターンシップ研修 海外インターンシップ ビジネスの世界 新社会人の基礎		2 2 2 2 2 2 1 1	

授業科目の名称	必修 単位数	選択 単位数	備考
[アクティブラーニング科目/シェンター・女性学研究所開設科目]			
日常生活とダイバーシティ		2	
大学生のためのダイバーシティ入門		2	
ダイバーシティ研究法概論		2	
ダイバーシティ研究法演習		2	
ダイバーシティ関係行政論 [M]		2	
ダイバーシティ表現演習Ⅰ		2	
ダイバーシティ表現演習Ⅱ		2	
セクシュアリティとメディア		2	
思想としてのフェミニズム		2	
[言語活用科目/英語] (基礎力養成)			
Basic English 1		2	
Basic English 2		2	
English 1(Listening)		2	
English 2(Reading)		2	
English 3(TOEIC 1)		2	
English 4(Speaking 1)		2	
English 5(TOEIC 2)		2	
English 6(Speaking 2) (対話力養成)		2	
TOEIC Training I a (Listening & Reading)		2	
TOEIC Training I b (Listening & Reading)		2	
TOEIC Training I c (Listening & Reading)		2	
TOEIC Training I d (Listening & Reading)		2	
TOEIC Training II a (Speaking & Writing)		2	
TOEIC Training II b (Speaking & Writing)		2	
Advanced English A		2	
Advanced English B (入門)		2	
Introduction to English		2	
[言語活用科目/初めての外国語(国際交流センター開設科目)]			
初めての外国語1(ドイツ語)		2	
初めての外国語2(フランス語)		2	
初めての外国語3(ロシア語)		2	
初めての外国語4(スペイン語)		2	
初めての外国語5(イタリア語)		2	
初めての外国語6(ポルトガル語)		2	
初めての外国語7(中国語)		2	
初めての外国語8(韓国・朝鮮語)		2	
[コンピュータ活用科目] (基礎)			
コンピュータリテラシーⅠ		2	
コンピュータリテラシーⅡ (資格支援)		2	
ITパスポート対策講座Ⅰ		2	
ITパスポート対策講座Ⅱ		2	
情報セキュリティマネジメント試験対策講座Ⅰ		2	
情報セキュリティマネジメント試験対策講座Ⅱ		2	
ウェブデザイン技能検定対策講座		2	

授業科目の名称	必修 単位数	選択 単位数	備考
[資格教育科目/会計教育科目]			
初級簿記(3級程度)*基礎総合		4	
中級簿記(2級程度)A*商業簿記		4	
中級簿記(2級程度)B*工業簿記		4	
中級簿記(2級程度)C*実践(試験直前対策)		4	
上級簿記(1級程度)A*商業簿記・会計学①		4	
上級簿記(1級程度)B*商業簿記・会計学②		4	
上級簿記(1級程度)C*工業簿記・原価計算①		4	
上級簿記(1級程度)D*工業簿記・原価計算②		4	
上級簿記(1級程度)E*実践(試験直前対策)		4	
初級簿記演習		2	
中級簿記演習A*商業簿記		2	
中級簿記演習B*工業簿記		2	

[教職課程科目] 授業科目とその単位数については、教職課程規程の別表のとおり

[学芸員課程科目] 授業科目とその単位数については、学芸員課程科目の別表のとおり

の科目は卒業要件単位数に算入しない。

別表第1

【令和6年度入学者】

食健康科学部健康栄養学科専門教育科目

授業科目の名称	必修 単位数	選択 単位数	備考
〔学部基礎科目〕 食健康科学基礎演習 食健康科学概論 統計学演習 対人技術演習 キャリアデザイン 基礎化学 基礎生物学	2 1 2 1 1 1 2 2		卒業要件 専門教育科目110単位以上（必修科目109単位、選択必修1単位）を含め卒業要件単位は124単位以上修得。 学部基礎科目7単位（必修）
〔学科基礎科目〕 管理栄養士概論 早期体験学習 実践統計学	1 2 2		学科基礎科目5単位（必修）
〔専門基礎科目/社会・環境と健康〕 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 社会福祉概論	2 2 2		専門基礎科目38単位（必修）
〔専門基礎科目/人体の構造と機能及び疾病の成り立ち〕 微生物学 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学実験Ⅰ 解剖生理学実験Ⅱ 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実験Ⅰ 生化学実験Ⅱ 病理学総論 病理学各論	2 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2		
〔専門基礎科目/食べ物と健康〕 食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品学実験Ⅰ 食品学実験Ⅱ 食品衛生学 食品衛生学実験 調理学 調理学実験 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ	2 2 1 1 2 1 2 1 1 1		
〔専門中心科目/基礎栄養学〕 基礎栄養学 栄養学実習	2 1		専門中心科目44単位 (選択必修1単位を含む)

授業科目の名称	必修 単位数	選択 単位数	備考
〔専門中心科目/応用栄養学〕 応用栄養学 母子栄養学 中高年栄養学 応用栄養学実習	2 2 2 1		
〔専門中心科目/栄養教育論〕 栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育論実習Ⅰ 栄養教育論実習Ⅱ 栄養カウンセリング論	2 2 1 1 2		
〔専門中心科目/臨床栄養学〕 臨床栄養学 栄養アセスメント論 臨床栄養管理論 医療・福祉・介護と栄養ケア 臨床栄養学実習 在宅栄養管理実習	2 2 2 2 1 1		
〔専門中心科目/公衆栄養学〕 公衆栄養学 食事調査法演習 公衆栄養学実習	2 2 1		
〔専門中心科目/給食経営管理論〕 給食経営管理論 給食経営管理演習 給食経営管理実習	2 2 1		
〔専門中心科目/総合演習〕 栄養総合演習Ⅰ 栄養総合演習Ⅱ	1 1		
〔専門中心科目/臨地実習〕 臨地実習Ⅰ（給食経営管理論） 臨地実習Ⅱ（臨床栄養学） 臨地実習Ⅲ（臨床栄養学） 臨地実習Ⅳ（臨床栄養学） 臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）	1 1 1 1 1	1 1	臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）、臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）から1単位を選択必修とする。
〔学科発展科目〕 健康栄養学研究Ⅰ 健康栄養学研究Ⅱ 健康栄養学研究Ⅲ 健康栄養学研究Ⅳ 卒業論文 管理栄養士特論Ⅰ 管理栄養士特論Ⅱ	2 2 2 2 4 2 2		

授業科目の名称	必修 単位数	選択 単位数	備考
〔資格取得科目〕 化学概論 食品加工学 食品加工学実習 運動生理学 健康スポーツ科学演習 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ 健康医科学演習		2 2 1 2 1 1 1 1 1 1	
〔教職科目〕 学校栄養教育論 学校栄養指導法		2 2	

の科目は卒業要件単位数に算入しない。

別表第1

【令和6年度入学者】

食健康科学部食創造科学科専門教育科目

授業科目の名称	必修 単位数	選択 単位数	備考	
〔学部基礎科目〕 食健康科学基礎演習	2		卒業要件 専門教育科目90単位以上（必修 科目46単位、選択必修2単位） を含め卒業要件単位は124単位 以上修得。 学部基礎科目7単位（必修）	
食健康科学概論	1			
統計学演習	2			
対人技術演習	1			
キャリアデザイン	1			
基礎化学		2		
基礎生物学		2		
〔学科基礎科目〕 食創造科学概論	2			学科基礎科目3単位（必修）
食産業キャリア演習	1			
〔専門基礎科目/食品学領域〕 食物の科学		2		専門基礎科目、専門中心科目から 22単位以上（必修20単位、選 択必修○から1単位、△から1単 位を含む）
化学概論		2		
食品加工学	2			
食品学Ⅰ	2			
食品分析学		2		
食品学実験		1	○	
食品加工学実習		1	△	
食品衛生学	2			
食品衛生学実験		1	○	
食品分析学実験		1	○	
〔専門基礎科目/調理学領域〕 基礎調理科学	2		△	
調理学実習Ⅰ（和食と伝統料理）		1		△
応用調理科学		2		
調理科学実験		1		○
調理学実習Ⅱ（世界の郷土料理）		1		△
〔専門基礎科目/健康学領域〕 生体の化学	2			
人体の構造と機能（解剖生理学）		2		
健康の科学	2			
生化学		2		
微生物学		2		
〔専門基礎科目/栄養学領域〕 健康栄養学	2			
栄養化学		2		
ライフステージ栄養学	2			
〔専門基礎科目/食文化領域〕 食文化論	2		△	
食空間・コーディネート論		2		
食空間・コーディネート実習		1		
〔専門基礎科目/食創生領域〕 社会と健康	2			
衛生管理学（食品衛生と食品製造）		2		

〔専門中心科目/食品学領域〕			
食品学Ⅱ		2	
食品機能学		2	
発酵食品学		2	
食品バイオテクノロジー学		2	
食品の官能検査・識別演習		2	
食品学Ⅲ		2	
食品製造学Ⅰ		2	
食品製造学Ⅱ		2	
〔専門中心科目/調理学領域〕			
食卓美学演習		2	
〔専門中心科目/健康学領域〕			
健康政策学		2	
運動と栄養		2	
医療総論		2	
薬理概論		2	
健康マネジメント論		2	
医食同源論		2	
〔専門中心科目/栄養学領域〕			
公衆栄養学		2	
臨床栄養学		2	
栄養情報活用演習 (栄養疫学演習)		2	
〔専門中心科目/食文化領域〕			
現代食生活論		2	
食文化演習		2	
民俗食生活学		2	
東洋食生活論		2	
フードスペシャリスト論		2	
フードコーディネーター論		2	
〔専門中心科目/食創生領域〕			
食品流通・消費学		2	
公衆衛生学		2	
食品表示・法規論		2	
食マーケティング論		2	
地域食論		2	
知的財産管理論		2	
商品開発論		2	
地域食開発演習		2	
テーブルマナー演習		2	
〔学科発展科目〕			学科発展科目16単位(必修)
食創造科学基礎演習	1		
専門基礎演習Ⅰ	1		
専門基礎演習Ⅱ	2		
食創造科学研究Ⅰ	2		
食創造科学研究Ⅱ	2		
食創造科学研究Ⅲ	2		
食創造科学研究Ⅳ	2		
卒業論文	4		

の科目は卒業要件単位数に算入しない。

別表第2

履修登録単位数の上限

【令和6年度以降入学者】

学年・期 学科	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
健康栄養学科	25	24	24	24	24	24	24	24
食創造科学科	24	24	24	24	24	24	24	24

なお、次の科目は上限単位数から除外する。

【令和6年度以降入学者】

①教職課程科目	②学芸員課程科目	③司書課程科目
④会計教育科目	⑤特定の海外研修科目	⑥愛知学長懇話会単位互換科目
⑦放送大学単位互換科目	⑧研究科開放科目	⑨食健康科学部専門教育科目 学部基礎科目 「基礎化学」 「基礎生物学」
⑩全学共通科目 「Introduction to English」	⑪創造表現学部 建築・インテリアデザイン専攻科目 「基礎数学」	⑫文学部教員免許状取得プログラム にかかわる特定の科目(当該プログラム登録者に限る)

ただし、①～④の科目のうち各学科が専門教育科目に指定している科目は上限単位数に含めることとする。

授 業 科 目	必 修 単 位 数	選 択 単 位 数	備 考
統計学演習 *1		2	
食品学実験 *2		1	
食品加工学実習 *2		1	
調理学実習Ⅰ(和食と伝統料理) *2		1	
調理科学実験 *2		1	
食品衛生学実験 *2		1	
食品分析学実験 *2		1	
調理学実習Ⅱ(世界の郷土料理) *2		1	
食空間・コーディネート実習 *2		1	
専門基礎演習Ⅱ *1		2	
食産業キャリア演習 *1		1	
食創造科学研究Ⅰ *1		2	
食創造科学研究Ⅱ *1		2	

副専攻プログラムの修了要件として、選択必修科目(10単位以上)を含め40単位以上履修すること。

複数学位取得希望者は選択必修科目の10科目(20単位)全てを副専攻プログラム履修中に必ず履修すること。

*1と*2がついた科目は複数学位取得希望者のみ履修可。複数学位取得希望者は、副専攻プログラム履修中に必ず履修すること。ただし、副専攻プログラムの修了要件に含まれないため、*1、*2以外の科目で40単位を修得する必要がある。ゼミの選択は、個別に対応する、ただし、希望する教員のゼミに所属できないことがある。履修登録の2ヶ月前までに食創造科学科教務委員に連絡すること。

*2の実験科目と実習科目は2時限連続授業を15週開講する。実験科目と実習科目を各1科目以上を副専攻プログラム履修中に必ず履修すること。これらの科目の履修には実習費が必要であり、学納金とは別に徴収がある。また*2の科目の履修には前提条件があるため、食健康科学部の履修要覧を確認すること。

「基礎化学」と「基礎生物学」は他の科目の理解度向上のため履修が求められることがあるが、副専攻プログラムの修了要件および自学科の卒業要件(他学部他学科開放科目)には含まれないので注意すること。

科目番号	科目	単位	履修 年次
290006	基礎化学	2	1
290007	基礎生物学	2	1